

LE2852 シリーズ
ユーザマニュアル

この度は、お買い上げいただきましてありがとうございます。
本ユーザマニュアルでは、10/100/1000BASE-T to 1000BASE-SX/LX メディアコンバータ LE2852 シリーズについて説明いたします。

LE2852 シリーズは、UTPケーブルと光ケーブルのメディア変換を行うメディアコンバータです。

このユーザマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品を使う前の必要な準備について説明しています。
まず、この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

製品を安全にお使いいただくため、必ず最初にお読みください。

警告 安全のために、必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。
- 故障したら使わない
すぐに販売店まで修理をご依頼ください。
- 万一異常が起きたら
・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水・異物が入ったら
・製品を高所から落としたり、破壊したとき

- ➡
- ① 電源を切る(電源コードを抜く)
 - ② 接続ケーブルを抜く
 - ③ 販売店に修理を依頼する

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

- 電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけない
・電源ケーブルを傷つけると火災や感電の原因となります。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・加工したり、傷つけたりしない
・熱器具の近くに配線したり、加熱したりしない。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 内部に水や異物を入れない
火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り(電源ケーブルを抜き)、販売店に点検・修理をご依頼ください。
- 内部をむやみに開けない
本体及び付属の機器(ケーブル含む)をむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- 落雷が発生したらさわらない
感電の原因となります。
また、落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを事前に抜いてください。本機が破壊される原因となります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない
本書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与える原因となります。

- めれた手で電源プラグやコネクタに触れない
感電の原因となります。
- 指定された電源コードや接続ケーブルを使う
マニュアルに記載されている電源ケーブルや接続ケーブルを使わないと、火災や感電の原因となります。
- 指定の電圧で使う
マニュアルに記載されている電圧の範囲で使わないと、火災や感電の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超えるような接続はしない
発熱による火災の原因となります。
- 通風孔をふさがない
通風孔をふさぎ、内部が熱くなり、火災や故障の原因となります。また、風通しをよくするために次の事項をお守りください。
・毛足の長いジュータンなどの上には直接設置しない。
・布などでくまなく。
- 移動させるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを抜く
接続したまま移動させると、電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

- ① 10/100/1000BASE-T ポート
10/100/1000BASE-T ポートで通信する機器を接続します。
- ② 1000BASE-SX/LX ポート
1000BASE-SX/LX で通信する機器を接続します。
- ③ LED

名称	状態	表示内容
本体		
PWR	緑点灯	電源 ON 状態
	消灯	電源 OFF 状態
LNK	緑点灯	ファイバリンク正常
	緑点滅	データ受信中
	消灯	ファイバリンク断
LFP	緑点灯	LFP:有効
	消灯	LFP:無効
10/100/1000M ポート		
1000	橙点灯	UTP1000Mbps
100	緑点灯	UTP100Mbps
10	消灯	UTP10Mbps
LNK	緑点灯	UTP リンク正常
	緑点滅	データ受信中
	消灯	UTP リンク断

- ④ 本体取付け用ネジ
本製品を 1、2 スロットシャーシまたは 19 インチラックマウントシャーシに装着する際、モジュール部の取り出しに使用します。詳しくは、シャーシ製品に同梱されているマニュアルを参照してください。

■ 特長

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 1000BASE-SX/LX に変換するメディアコンバータ
- オートネゴシエーション、MDI/MDI-X 自動設定機能を搭載
- DIP スイッチにより、スピード/半二重/全二重/オートネゴシエーションの手動設定が可能
- DIP スイッチにより、LFP(リンクバススルー)の OFF/ON の手動設定が可能
- フロントパネルに各種 LED を表示
- スタンドアロンデバイスとしても、カードタイプシャーシ収納デバイスとしても使用可能
- ラック収納として使用する場合、ホットスワップ機能に対応
- 帯域制御機能をサポート(SNMP と LE2020 または LE2002 が必要)
- ALS(オートレーザシャットダウン)をサポート(SNMP と LE2020 または LE2002 が必要)
- リモート電源断通知(Dying gasp) (SNMP と LE2020 または LE2002 が必要)
- RMON カウンタの参照

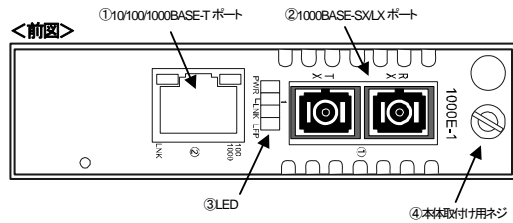
■ 付属品

この製品には本体の他に、以下の内容物が同梱されています。

- AC アダプタ x 1 個
- ユーザマニュアル x 1 部
- 製品保証書 x 1 部

MEMO:製品の移送や修理依頼等の再梱包のため、梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

■ 各部の名称と働き



■ 本体の接続のしかた

- 1. モジュール基板上的 DIP スイッチ(下図参照)により、各種設定を行うことができます。

DIP スイッチ設定

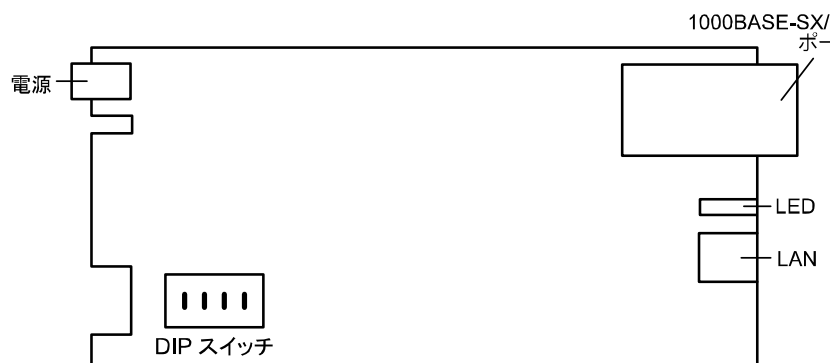
Pin 1	Pin 2	Pin 3	Pin 4	機能
Off	Off	Off	-	UTP/N-Way(Auto Negotiation)
On	Off	Off	-	UTP 1000Mbps/Full
Off	On	Off	-	UTP 100Mbps/Full
Off	On	On	-	UTP 100Mbps/Half
On	On	Off	-	UTP 10Mbps/Full
On	On	On	-	UTP 10Mbps/Half
-	-	-	On	LFP On
-	-	-	Off	LFP Off

※工場出荷時設定は全て OFF になります。

※設定を変更する場合は、必ず電源を「OFF」にしてからスイッチを切替えて、再度電源を「ON」にしてください。

<モジュールの取外し方法>

モジュール取外し用ネジを外して、モジュールをケースからゆっくりと引き出します。
基板(下記図を参照)に DIP スイッチがありますので、必要に応じて設定してください。
取付け時は、モジュール側のガイドをケースのレールに合わせて挿入し、モジュール取外し用ネジで固定します。



※LE2930 の設定を行うと、DIP スイッチの設定は無効となります。LE2930 の設定が優先されます。
DIP スイッチが有効になるのは、スタンドアロンとして使用する場合です。

■ 本体の接続のしかた

- ① 10/100/1000BASE-T ポートの接続について
対向機器と UTP ケーブルを使って接続します。
- ② 1000BASE-SX/LX ポートの接続について
1000BASE-SX/LX ポートと対向機を光ファイバケーブルを使って接続します。



光コネクタをのぞきこまないでください。光コネクタには強力な光源を使用しており、目を痛める恐れがあります。危険ですから、光コネクタは直視しないでください。

【Memo】 ご使用になる光ファイバケーブルについて
マルチモードをお使いの場合は、GI(Graded Index)型のコア/クラッド径が62.5/125μm(推奨)、もしくは50/125μm、シングルモードをお使いの場合は、9/125μmのものを必ず使用してください。

- ③ AC アダプタ(電源)を接続します。
DC プラグを本体背面の DC ジャックに挿し込み、AC アダプタをコンセントに挿し込みます。
電源コードの抜け防止に付属のコードクランプをご利用ください。

■ 設置場所について



次のような環境での使用はしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- ・直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置しないでください。
- ・振動の激しい場所や傾いた台の上など、不安定な場所に設置しないでください
- ・通風孔をふさいでしまうような場所に設置しないでください
- ・テレビ、ラジオ、コードレス電話機などのそばに設置しないでください
- ・急激な温度変化のある場所に設置しないでください
- ・湿度の多い場所や、水などの液体がかかる恐れのある場所に設置しないでください
- ・ほこりの多い場所や、静電気障害の原因となるジュウタン床に設置しないでください
- ・腐食性ガスが発生するような場所に設置しないでください

- ラックへの設置方法
別売のラックマウントシャーシ(LE2020-15/45)を使って、19 インチラックに収納することもできます。

■ ご使用にあたってのお願い



静電気注意

内部には静電気に敏感な電子部品を使用しています。
静電気を帯びた手でコネクタの接点部に直接触れると故障(静電破壊)の原因となります

■ トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

- Power LED が点灯しない
 - AC アダプタや DC プラグが外れていませんか？
⇒ 電源が正しく接続されていることを確認してください。
- ケーブルを接続しても Link ランプが点灯しない
 - 接続先の機器の電源が入っていますか？
 - 接続先の機器とケーブルが正しく接続されていますか？
 - 接続先の通信モードは正しく設定されていますか？
⇒ 接続先の機器の電源、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
ケーブルの長さが制限を越えていたり、断線があると原因の特定が困難です。
このような場合は、予備のケーブル等で確認してみてください。

■ 製品仕様

製品型番	LE2852-005	LE2852-10	LE2852-20
標準規格	IEEE802.3, IEEE802.3u, IEEE802.3ab, IEEE802.3z		
データ転送速度	10/100/1000Mbps(CSMA/CD)		
イーサネットポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000Base-T x1ポート(MDI/MDI-X 自動切替)		
	Duplex Full/Half DipSW により選択が可		
	Auto Negotiation 対応、(DipSW により通信速度の固定設定が可)		
光ポート	1000BASE-SX MMF (ITU-T G.651 準拠)	1000BASE-LX SMF (ITU-T G.652 準拠)	1000BASE-LX SMF (ITU-T G.652 準拠)
波長	850nm	1310nm	1310nm
出力	-9.5dBm~-4dBm	-9.5dBm~-3dBm	-2dBm~+3dBm
受信感度	-17dBm~-3dBm	-20dBm~-3dBm	-23dBm~-2dBm
使用ケーブル	10BASE-T 100BASE-TX 1000BASE-TX	UTP カテゴリ 3 以上 UTP カテゴリ 5 以上 UTP カテゴリ 5e 以上	
機能	リンクフォルトバースルー (Default: OFF)		
転送方式	ブリッジ		
最大フレームサイズ	スイッチモード 1632 バイト		
電源	定格入力電圧/周波数 最大入力電流 最大消費電力 最大発熱量	AC100V、50/60Hz 1.0A 5W 4.3Kcal/h	
環境条件	動作時温度/湿度 保管時温度/湿度	0°C - 50°C/10% - 90% ※結露なきこと -10°C - 70°C/10% - 90% ※結露なきこと	
外形寸法	88mm(W) × 139mm(D) × 23.5mm(H) ※突起部含まず		
重量	398g ※AC アダプタ含まず		
信頼性	MTBF 243,444h		
適合性	EMI 規格 VCCI クラス A		
同梱物	AC アダプタ、マニュアル、保証書		

■ 製品保証およびユーザーサポート

製品の保証内容に関しては添付されている「保証書」、「保証規定」をよくお読みください。
また、テクニカルサポートにつきましても、添付されている「テクニカルサポートのご案内」をお読みください。

- 本ユーザーマニュアルは、FXC 株式会社が発行したもので、全ての権利を弊社が所有します。
弊社に無断で本書の一部、または全部を複製転載することを禁じます。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
- ユーザーマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

<マニュアルバージョン>
2011年 4月 初版

FXC株式会社